

記入例サンプル

(別紙) 申立人 102

(氏名・名称) 甲野太郎

1

損害一覧

請求項目 ✓

<input checked="" type="checkbox"/> 契約書 ・契約書にかわる利用合意を示す証拠		甲 102 の 1	2
<input checked="" type="checkbox"/> ①本件ランサムウェア事故に関する人件費	<u>3万6000</u> 円		
	計算式 <i>(稼働時間) 24時間 × (時給) 1500円 = 36000円</i>	証拠	3
	本件事故を原因とする人件費であることを証する事実 <i>土日深夜に稼働しており、事故対応のため臨時アルバイトを1名雇った</i>	甲 102 の 2	
<input checked="" type="checkbox"/> ②「オンプレ版社労夢」費用	<u>●●</u> 円		4
	「オンプレ版社労夢」請求書 領収書	甲 102 の 3	
<input checked="" type="checkbox"/> ③利用料差額分	<u>2万0666</u> 円		5
	利用可能になった日 <u>8月 1日</u>	未請求期間	<u>6月分</u>
	計算式 <i>2万円 ÷ 30日 × 31日 (7月分) = 2万0666円</i>		
	上記計算を基礎づける証拠	甲 102 の 4	
<input checked="" type="checkbox"/> ④信用毀損	100万円		6
	信用毀損を基礎づける具体的事実 <i>実質的に特定個人情報の変更費用を負担し割引をせざるを得なくなった、顧問企業から契約解除された</i>	甲 102 の 5	
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他実損	<u>●●</u> 円		7
	損害を基礎づける具体的事実 <i>顧問先企業のマイナンバー変更費用を負担した</i>	甲 102 の 6	
損害額合計		<u>●●</u> 円	8
<input checked="" type="checkbox"/>	調停申立書記載のとおり、値上げと不合理な契約内容の改定についての「相当な解決」を求める。		9

上記の記入内容はあくまでサンプルです